

現在、福祉医療費受給券をお持ちの方へ

現在、お持ちの福祉医療費受給券は、有効期限が平成29年7月31日となっております。

8月以降も引き続き受給資格に該当する方には、7月下旬に新しい受給券を送付します。なお、新しい受給券がお手元に届いていない場合や住所・氏名などに誤りがあった場合は、すぐに住民課保険年金担当までご連絡ください。
※新たに対象になる方等、申請・更新の手続きが必要な方には個別に申請書等を送付しますので、必要書類を添えて手続きをお願いします。

◎乳幼児および小中学生の受給券は、10月に更新となります。

注意

保育所・学校等で加入している「独立行政法人日本スポーツ振興センター」の災害共済給付の対象となる受診については、福祉医療費受給券を使用されないようお願いいたします。使用されると保護者の方から福祉医療分を返金していただくこととなりますので、ご注意ください。

提出・問い合わせ先 ◆ 住民課 保険年金担当 ☎0748-526571

熱中症は予防が大切です

熱中症は気温等の環境条件だけでなく、体調や暑さに対する慣れなどが影響して起こります。気温がそれほど高くない日でも、湿度が高かったり風が弱かったりする日や、体が暑さに慣れていないときは注意が必要です。

●こんな日は熱中症に注意

気温・湿度が高い
風が弱い

●熱中症の予防法

日傘・帽子の活用
水分と塩分をこまめに取る
涼しい服装など



問い合わせ先 ◆ 保健センター ☎0748-526574

平成30年 成人式

と き：平成30年1月7日(日)
午前10時30分 式典開始(受付:午前10時00分)
と ころ：日野町町民会館わたむきホール虹
対 象：平成9年4月2日～平成10年4月1日生まれの方



【成人式実行委員募集】自分たちの手で思い出したい温かい成人式をつくってみませんか。日野町では、新成人が自分たちの手で成人式を企画・運営しています。一生に一度の成人式をコーディネートしてみようという新成人を募集します。

【募集人員】14～16名程度(各公民館区男女2名程度)

【募集期間】7月3日(月)～8月31日(木) 応募いただける方は生涯学習課までご連絡ください。

【ふるさとで成人式を】町から転出された方で、日野町の成人式へ参加を希望される方は、生涯学習課までお申し込みください。

問い合わせ先 ◆ 教育委員会事務局 生涯学習課 ☎0748-526566

氏郷まつり 「夏の陣」 2017

と き：8月5日(土)

午後3時30分(開会式)

と ころ：日野町役場北側駐車場

◆金魚すくいの陣(全国金魚すくい選手権予選大会)
◆屋台の陣 ◆盆踊りの陣(懸賞付盆踊り大会)
◆花火の陣(午後8時45分～9時 ※予定 ◆抽選の陣)
その他イベントの詳しい内容等は新聞折込みチラシまたは左記までお問い合わせください

問い合わせ先 ◆ 日野町イベント実行委員会事務局 (商工観光課内) ☎0748-526562

日野町におられる医師・歯科医師・薬剤師などの方々が町民の皆さんへ
医療や公衆衛生の面からアドバイスいただくシリーズです

介護を必要としないために

.....どひ整形外科クリニック 医師 土肥 潤二さん

わが国は2007年に高齢化率が21%を超え、世界に先駆けて超高齢社会となつていきます。高齢者の増加とともに介護者も増え続けています。2013年の厚生

行ったり、散歩をしたり、ゲートボールやグラウンドゴルフをすることも筋力維持に役立ちますし、おたつしや教室の体操等も良いでしょう。

労働省「国民生活基礎調査」によると、要支援・要介護認定の原因疾患は、脳血管疾患21.5%・認知症15.3%・高齢による衰弱13.7%・転倒骨折11.8%・関節疾病(変形性膝関節症・変形性股関節症等)10.9%・脊髄損傷2.3%です。このように運動器の障害を合わせると25%となり、脳血管疾患や認知症を上回っています。

②骨折の予防としては、骨粗鬆症の治療が大切です。加齢とともに骨が弱くなりますので、自分の骨の強さ(骨密度)を知っていたら、低ければ治療することにより骨は強くなります。

これらのことより、介護を必要としない、介護をしないためにも、①転倒を予防する②骨折を予防する③関節の変形を予防することが大変重要になってきます。

③関節の変形を予防するには、関節の痛みを長期間我慢しないことです。我慢している間に関節の変形が進んでいくので、痛みが出れば軽症のうち病院・診療所を受診してくださいね。

①転倒の予防としては筋力の維持が必要です。畑へ



どひ整形外科クリニック 日野町松尾三丁目1番地1 ☎0748-52-8880

感雑向綿

2017年7月

日野町長 藤澤直広

大学時代の恩師の先生が定年退官されました。日本体育

山大学の選手を歌いながら送ったことを思い出します。

大学を卒業し体育の教官として赴任されました。そのときに入学したので4つ年上の先生でした。陸上部の監督にも就任されお世話になりました。日体大の出身であり、走るフォームはカモシカの如くシャープで「さすが」と感心しました。でも、日体大流の厳しいクラブの運営を押し付けられることはなく、「兄貴」のような存在でした。先生の官舎で麻雀もしました。陸上部は年に何回か合宿があり、寝食を共にし仲間意識を高めました。夏の合宿は信州霧ヶ峰や富士見高原に行きました。合宿の「打ち上げ」で酒を飲み歌いもしました。陸上部に「一流選手」は少なかったけれど一生懸命練習し強くなろうという気持ちは誰もが持っていました。

ところで、その頃、全国の都市部で「革新」知事や市長が誕生し滋賀県でも武村正義知事が誕生しました。土地開発公社をめぐる土地ころがし事件など県政の「黒い霧」が争点となりました。明確な争点と大同団結によって政治がかわりました。昨年の参議院選挙では、安保法制の廃棄などを公約に野党共闘が成立した11の一人区で野党が勝利しました。先の通常国会で多くの論点が整理されないまま現代版治安維持法ともいわれる「共謀罪」法が一強行可決されました。戦前回帰の流れに抗して憲法と民主主義がいきる社会の実現へ大同団結が必要です。

「琵琶湖周航の歌」は今年で百周年を迎えます。旧制第三高等学校(現在の京都大学)の寮歌や学生歌として歌い継がれてきましたが、滋賀県の県歌のように親しまれています。美しい琵琶湖の情景、若者の胸が夢に膨らむ平和な社会をつくるために力を合わせましょう。